

法政大学現代法研究所「生命倫理の法制化」プロジェクト

第5回 研究会プログラム

日時：2015年3月9日（月） 15時～17時

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス <http://www.hosei.ac.jp/campus/index.html>

ポアソナードタワー 25階 C会議室

<http://www.hosei.ac.jp/campus/ichigaya/index.html>

(地図上⑥の建物です。ただ今、正門が工事中ですので⑥の建物の裏側の門からお入りください)

プログラム

報告 15時～17時

「代理母をめぐる法制度と議論

ーフランス及びヨーロッパにおける共通化と多様性ー」

Thierry Renoux 教授

エクス・マルセイユ大学（フランス）・憲法学

Renoux 教授は、フランスの司法権の研究で著名な方ですが、近年は、「ヨーロッパ人権裁判所とフランス憲法院による人権保障」、「生殖補助医療と人権」に関するご研究されています。研究会では、代理母に関して、フランスにおける議論と法制度、またヨーロッパ人権裁判所の判例に関して、「法制化による統一化」と「文化の多様性」にも触れつつお話しいただく予定です。

* 報告はフランス語（通訳あり）、質疑は日本語（通訳）、英語で行われます。

* 研究会終了後、懇親会を予定しています。どうぞご参加ください

プロジェクト代表 建石真公子